

ベトナム語科

ベトナムの人口は 9000 万人を超え、海外にも 300 万人以上のベトナム人が在住しています。ベトナム語は単音節の孤立語で語形変化がなく、中国語やタイ語のように声調があります。最初は発音が難しいと感じるかもしれませんが、ローマ字を使う現代ベトナム語の正書法は難しくありません。1651 年にローマで刊行されたカトリック神父アレクサンドル・ド・ロードの「ヴェトナム語・ポルトガル語・ラテン語辞典」が今日の正書法クオック・グーの基礎となったと言われています。公文書を漢文で書く伝統を有する民族王朝のもと全国の地方都市で実施されていた科挙試験が 20 世紀初めに廃止されると、漢字の知識がなければ読み書きが出来ないチューノム(字喃)という民族文字は衰退し、クオック・グーが広く普及しました。

入門 ※2023 年度春学期は開講いたしません。

ベトナム語の音節を構成する母音、声調、語頭子音、介母音、二重母音、語末子音について学習し、クオック・グーの声調記号や特殊符号の意味を理解して発音できるようになることを目指します。オリジナルの教科書「ベトナム語入門1」を使い、ベトナム語の基本語順、あいさつと人称代名詞、親族名称、名詞述語文、形容詞又は動詞述語文、類別詞、指示詞、疑問詞、2 桁までの数、存在・所有の動詞、存在文、時刻の言い方などを学習し、ゆっくりと初歩的な会話が出来ようになることを目指します。

初級

入門でベトナム語の発音を学び、初歩的な会話が出来ようになった人向けのクラスです。オリジナルの教科書「ベトナム語入門2」を使って年月日や曜日、100 以上の数、副詞、過去と未来の「いつ」、状況可能と能力可能、受身、相手の意向確認、依頼、使役、勧誘、意志の伝達などの基本的な表現を学習します。

入門および初級の段階ではまだ辞書は原則的に必要としません。受講生には慶應義塾大学外国語教育研究センター発行『ベトナム語基本語彙集』を別途ご案内いたします。また旅行ガイドブックを置いている書店ならば、JTB パブリッシング発行『絵を見て話せるタビトモ会話 ベトナム語』を購入できます。

中級

様々な場面や状況で役立つ会話表現を通して初級文法事項を復習しながら、方向動詞、疑問詞、文末詞などの用法、受身、可能、許可、使役、比較、依頼の表現、条件・結果、仮定・結果、原因・結果などの文型を含む中級の文法事項を学習し、「聞いて、話す」練習を中心に繰り返します。一見、漢字文化圏の共通する語彙のようでも意味や用法の違いがある場合に注意を払いながら、個別の発音指導を適宜補い、比較的読みやすい長文読解を取り入れていきます。

上級 ※2023 年度春学期は開講いたしません。